



平成 29 年 6 月 21 日

応用地質株式会社

報 道 関 係 各 位

応用地質株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：成田 賢）は、公益社団法人土木学会理事会において平成 28 年度土木学会賞を受賞しました。

土木学会賞は公益社団法人土木学会創立後 6 年目の 1920（大正 9）年に「土木賞」として創設されて以来、80 余年の伝統に基づく権威ある表彰制度です。この度当社は、論文賞、環境賞の 2 部門を受賞しました。

【論文賞】

- ・ 東日本大震災で発生した岩手県の災害廃棄物分別土砂の品質とその変化
＜土木学会論文集 C（地圏工学） Vol.72, No.3, pp.252-264, 2016.＞
- ・ 受賞者： 京都大学：高井 敦史、勝見 武、乾 徹
岩手大学：大河原 正文
岩手県：川島 光博
応用地質：岩下 信一（地球環境事業部長）

・ 授賞概要：

東日本大震災における災害廃棄物・津波堆積物に多量に含まれる土砂分を地盤材料として再資源化することは、被災地の早期の復興に向けて重要課題の一つでした。混合廃棄物から分別された土砂には微細な木片等が残存しており、受賞者らは、このような分別土砂の地盤材料としての適正性や、時間の経過によりどのように変質するかなどの特性を分析を行い、分別土砂は有効活用のための品質を満足し、建設資材として十分な特性を有していることを確認しました。本研究により、将来の大規模災害における復旧・復興に向けて有効な知見をもたらしたことが評価され、今回の受賞に至りました。

【環境賞】

- ・ 授賞対象
住民合意を踏まえた道路維持管理に伴う放射性物質汚染土砂の環境影響低減プロジェクト
- ・ 受賞者：福島県、応用地質(株)、西松建設(株)、佐藤工業(株)、(国研)産業技術総合研究所、早稲田大学

弊社関係者：門間 聖子（技術本部技師長室）、宮口 新治（東京支社 技術部）

・ 授賞概要：

放射線濃度が一定レベルを超え、環境大臣が指定した廃棄物は国により適切に処理されますが、福島県の道路清掃で発生する放射性物質を含んだ土砂は、当時は指定廃棄物に該当せず、廃棄処理にかかる県の財政負担は多大なものでした。受賞者らは、放射性セシウムが粘土鉱物に吸着されやすいという性質に着目し、湿式分級手法を用いることで汚染土を再利用可能な土砂と指定廃棄物とに分別する技術を開発しました。本プロジェクトは、



News Release
OYO Corporation

きめ細かな住民説明や事業活動の公開を通じて地域の合意を得て進められたこと、また、原発事故による生活環境への影響を低減するとともに資材の有効利用および県の財政負担の軽減にも繋がるなど、社会貢献度の高い取組みであったことなどが評価されました。

以上

【本件に関するお問合せ先】

応用地質株式会社 社長室 川地・橋本

TEL : 03-5577-4501

E-mail : prosight@oyonet.oyo.co.jp